

奈良 AIラボセミナー IoT導入支援講習会 in 奈良

11月20日（金）、近畿総合通信局は、奈良県と共催により奈良市の奈良県産業振興総合センターにおいて、IoTを活用したビジネス課題解決の手法を実際に体験できる「IoT導入支援講習会 in 奈良」を開催しました。

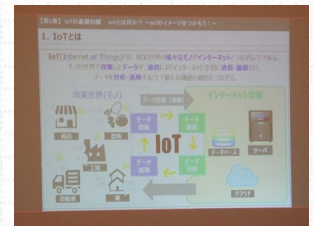
本セミナーでは、IoTの導入・利活用に関心のある企業・団体の経営に携わる方や担当の方にIoTを活用したビジネス課題解決の手法を、座学だけではなくワークショップを通して実際に体験いただきました。

セミナーでは、「IoTの基礎知識」、「IoTの技術・関連制度」についての説明が行われ、その後、操作体験として参加者ご本人が直接パソコンを操作し、IoT導入実現への体験実習が行われました。

また、講師から、IoT導入に際してデータの活用が非常に重要であるとの話があり、受講者からも職種による事例への質問など、活気のある講習会となりました。



セミナー会場の模様



スライドの一例

クラウドで未来へシフト 全国中小企業クラウド実践大賞 大阪大会

11月25日（水）、近畿総合通信局は、クラウド実践大賞実行委員会、大阪商工会議所との共催により、「全国中小企業クラウド実践大賞大阪大会」を開催しました。

当日は、参加8社から、各10分間のプレゼンが行われ、各社それぞれ特徴あるクラウド活用について、熱のこもった発表をいただきました。

本大会では、株式会社タニハタ（富山市）が近畿総合通信局長賞を、マツ六株式会社（大阪市）が大阪商工会議所会頭賞を受賞されました。

受賞した2社は2021年1月28日（木）に東京で開催される「全国中小企業クラウド実践大賞全国大会」に出場します。



高野 近畿総合通信局長（左）
谷端（株）タニハタ社長（右）



会場の模様

表彰



<近畿総合通信局長賞>

株式会社タニハタ

クラウドで飛鳥時代から続く伝統工芸を未来につなぐ。

<大阪商工会議所会頭賞>

マツ六株式会社

縦割り組織からOne Teamへ ～現場力が高まるクラウド活用～



やるなら今やで！テレワーク！ 堺市テレワークセミナー・相談会

11月27日（金）、近畿総合通信局は、堺市、堺市産業振興センターとの共催により、新型コロナウイルス感染症対策としても注目されているテレワークを推進するため、「堺市テレワークセミナー・相談会」を開催しました。

セミナーでは、総務省テレワークマネージャーの米田 宗義氏から、中小企業がテレワークを導入する際に留意すべき点などについて、ご自身が相談を受けた事例を交えて講演いただき、また堺市からは、12月4日まで募集期間の堺市テレワーク導入補助金についての説明がありました。

当日は、オンラインによる同時配信も行われ、新型コロナウイルス感染症対策を実施した上での会場参加に加え、リモートでも多くの方にご参加いただきました。

また、セミナー後の相談会では、テレワーク導入を検討する企業の方々が、相談員と熱心に対話をされていました。



総務省テレワークマネージャー
米田 宗義 氏



セミナー会場



オンライン
同時配信画面



個別相談会

八尾でええやん！プロから学べるオもしろい動画 動画コンテンツ編集のコツ in 八尾

11月27日（金）、近畿総合通信局は、近畿情報通信協議会との共催により、八尾市の「みせるばやお（リノアス8階）」で“いつでも”“誰でも”が地域を題材としたコンテンツを発信できるようにすることで、地域の活性化を図り、人口減少などの地域課題の解決につなげることを目的として、コンテンツ制作のためのスキルアップ講習会「動画コンテンツ編集のコツ in 八尾」を開催しました。

当日は、近畿情報通信協議会 コンテンツ流通促進委員会の岩田 賢一委員長（FM802技術部長）から事例紹介があり、続いて「動画コンテンツ編集のコツ」として、関西テレビ放送株式会社 技術推進本部 制作技術統括局 制作技術センター主任の清水 慎恭氏を講師に迎え、動画編集のコツ・テクニックについて講習いただきました。

講習では、いかにして人を引きつけ、最後まで見てもらえるような面白い動画を編集する方法を、数十分の未編集動画を3分程度に編集しながら具体的に説明いただきました。

講師の話に対して、参加者から編集の具体的な作業について踏み込んだ質問があるなど、有意義な講習会となりました。



講師の 清水 慎恭 氏



会場の模様



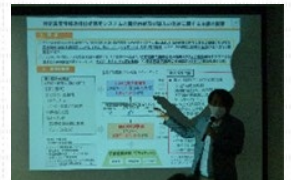
いろんなこと、できるやん! 近畿ローカル5G推進フォーラム

11月30日(金)、近畿総合通信局は、近畿情報通信協議会の協力により、大阪市内で「近畿ローカル5G推進フォーラム」第2回会合を開催しました。本フォーラムでは、「ローカル5Gで何ができるの?」「ローカル5Gでこんなことやってみたい!」という地域の声にお応えするとともに、地域での活用に繋げることを目指しています。

会合では、事務局から令和2年度「地域課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」における実証予定案件を紹介。その後、近畿で予定されている実証案件として、住友商事株式会社から「目視検査の自動化・遠隔品質確認」、日本電気株式会社から「無人搬送車の遠隔制御」、兵庫県から「スポーツ遠隔観戦、選手への遠隔コーチング」等を発表し、最後に総務省情報流通行政局から5G投資促進税制等について説明がありました。

質疑応答では、質問受付システム「Slido」を活用し、Web参加者からの質問にも対応し、より一層活発な質疑応答がなされました。

また、近畿情報通信協議会YouTubeチャンネルによる後日限定配信も行い、約100名と多くの方にフォーラムの様子を視聴いただきました。



会場の模様

「こんなん大丈夫や」その自信どっからくんねん 防災情報通信セミナー2020

12月4日(金)、近畿総合通信局は、大阪市内で近畿地方非常通信協議会及び近畿情報通信協議会との共催により、「防災情報通信セミナー2020」を開催しました。

当日は、自治体や通信関連企業などから60名を超える方々にご参加いただきました。

セミナーは、講演会と防災関連機器の展示会で構成され、講演会では、熊本県入吉市役所の大村 克行企画審議監兼新型コロナウイルス感染症対策室長から「令和2年7月豪雨や熊本地震での災害対応を通して見えてきたICT利活用の現状や課題」、兵庫県立大学大学院の浦川 豪准教授から「災害対応を効果的に遂行するための地理空間情報の活用方策」、同志社大学の中谷内一也教授から「災害情報と人の(避難)行動の関係」について、お話いただきました。

参加者からはICTを活用した防災対策だけでなく、情報に対する人の心理と行動に関する内容も盛り込まれており、非常に有意義であったと感想をいただきました。

また、展示会には、発災時に有効な最新の防災情報伝達システムが展示され、各機器の説明を熱心に聞き入る見学者の姿が数多く見受けられました。



大村 克行氏



浦川 豪氏



中谷内一也氏



講演会場の模様



展示会場の模様



臨時災害放送局
(近畿総合通信局出展)



地域と一緒にセキュリティ対策を考えませんか？

「サイバーセキュリティ・カフェ(座談会) in 福知山」を開催

12月11日(金)、関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局(※)の主催により、福知山市において「サイバーセキュリティ・カフェ(座談会) in 福知山」が開催され、中小企業等の情報システム担当の方など15名が参加しました。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、テレワーク等を実施する企業が増えており、サイバー攻撃やフィッシングメール等への対策がますます重要になってきていますが、本イベントでは、サイバーセキュリティに関し地域に根ざした活動や考える機会にさせていただくための講演会と座談会が行われました。

講演では、京都工芸繊維大学教授の柘田 秀夫氏からサイバー攻撃とサプライチェーンリスクに関して、サイバー攻撃を完全に防御するのは不可能であることを念頭において、データ操作の記録(ログ)や定期的なバックアップの重要性について説明がありました。

また、福知山公立大学准教授の衣川 昌宏氏からは、中小企業等のサーバーセキュリティ対策とインシデント対応に関して、インターネット上やネットワーク機器環境における対応について説明がありました。

講演後の座談会では、福知山公立大学教授の倉本 到氏をモデレーターとして、柘田氏、衣川氏も参加して講演の振り返りや見えない脅威から身を守るために何をすべきかについて意見が交わされ、その後、参加者との質疑対応が行われました。



左：京都工芸繊維大学 柘田 秀夫氏
右：福知山公立大学 衣川 昌宏氏



福知山公立大学 倉本 到氏



座談会の模様

(※) 関西におけるサイバーセキュリティの重要性についての機運醸成や、サイバーセキュリティの向上に資する人材の発掘・育成の円滑化を図ることを目的に、関西のサイバーセキュリティ分野に関心の高い産学官等と連携して平成30年10月に立ち上げ。近畿総合通信局、近畿経済産業局及び一般財団法人関西情報センター(KIIS)が共同で事務局を務めている。

【次号掲載予定の一部をご紹介します。】

「ミライノピッチ2020～出でよ ピッチマン。～」の開催
「近畿情報通信セミナー2020」の開催

【編集後記】

もうすぐ新たな年を迎えます。

新型コロナの勢いはまだまだ衰えずに感染拡大が続いています。

マスクをせずに公園で遊ぶ子供の姿を1日も早く見られますよう、新型コロナの終息を切に願うばかりです。

今年は「e-かわらばん近畿」も4月から9月まで休刊となりましたが、再開後は誌面を賑やかに、明るくするよう努めてきました。まだまだ不慣れで、読みづらい部分も多々ありますがご容赦願います。

それでは、新年も本誌と近畿総合通信局を何卒よろしく願っています。

令和3年が皆様にとって良い年となりますよう祈念いたします。(HB)

大阪城

